

2019年度 町田市動物愛護推進連絡協議会 確認用議事要旨

日時	2020年2月13日(木) 14:00~15:30
場所	町田市保健所中町庁舎 講堂
出席者	町田市動物愛護推進連絡協議会 委員 佐藤委員(会長)、青木委員、稲野委員、高藤委員、舘田委員、徳力委員、森本委員、河合委員(保健所長)(順不同)
事務局	町田市保健所 田中課長、高橋係長、秋山担当係長、西澤担当係長、芥川、金子
傍聴者	6名

■資料

- 【資料1】町田市動物愛護推進連絡協議会委員名簿
- 【資料2】町田市動物愛護推進計画
- 【資料3】町田市動物愛護推進計画の概要
- 【資料4】2019年度 動物愛護管理事業報告
- 【資料5】2020年度 動物愛護管理事業計画
- 【資料6】動物愛護推進計画(施策の指標・現状値・目標値・達成時期)
- 【資料7】2018年度事業概要(抜粋)
- 【資料8】ペットタウンまちだ第42号(2019年8月15日号)
- 【資料9】台風第19号による避難施設へのペットの避難状況について
- 【資料10】災害からあなたとペットを守るために
- 【資料11】町田市ふるさと納税

■議事

1 開会 挨拶(所長挨拶)

2 議事

(1) 2019年度 動物愛護管理事業報告、2020年度 動物愛護管理事業計画、2018年度 動物愛護推進協議会質問事項等について(事務局から説明)

(2) ふるさと納税の活用について(事務局から説明)

・資料4事業報告の「飼い主の高齢化に関する研究」を「飼い主の高齢化に関する情報収集に変えた方がわかりやすい。(委員)

・学校での動物飼育を項目として追加してほしい。学校で動物飼育は行われてい

るが、アニマル・アシステッド・エデュケーションという考え方と学校教育との関連性を考えると違和感を感じる。ヒューメインエデュケーション、動物福祉な

ど動物愛護を通して子供の教育を図っていく考え方があるので、項目として取り組んでもよいと思う。(委員)

・高齢者の方が突然亡くなって動物が取り残されるという現状が多い。前もってわかっていたら、路頭に迷う犬猫がなくなるのではないかと思う。高齢者はケアマネージャーや支援センターとつながっている場合があるが、ペットにはないので横のつながりがあると未然に防げて飼育放棄される状況はなくなるのではないかと思う。(委員)

・2019年度事業報告の中の狂犬病予防接種、9月以降督促状をだしているが、実施率は督促率のことではなく、督促したあと注射を打ったということか。(委員)

⇒督促率である。(事務局)

3 情報交換について

(1) ペットの災害対策について (委員から講話)

(2) その他

「台風第19号による町田市内避難施設へのペットの避難状況について」

(事務局から説明)

・台風19号の避難状況について獣医師会に連絡が入ったのは今年に入ってからである。災害時の協定を市と締結しているが、避難があったら連絡が入るような協定を締結した方がよい。(委員)

・開設された避難施設は市の施設か。(委員)

⇒学校や市民センターなど市の施設である。(事務局)

・避難施設が学校の場合は、だれが受け入れを決めたのか。(委員)

⇒受け入れを決めるのは、施設の運営者(学校長)である。(事務局)

・民間に避難施設を設置してもらう予定はあるか。(委員)

⇒ない。(事務局)

・ペットを連れて行って良い避難施設があるならば、情報発信してもらいたい。(委員)

・避難施設にペットを連れてきた人は、どの場所に避難したのか。(委員)

⇒雨風が強かったので、基本的に建物の中、若しくは雨風を防げた場所。学校の場合は昇降口、廊下、体育倉庫、体育館の入り口などにケージを置いて避難していたという報告があった。(事務局)

・避難施設では、飼い主とペットは一緒にいたのか。(委員)

⇒人とペットは別のスペースにいたと報告を受けている。(事務局)

・市で避難施設に関して画一的にこうなさいと言っても避難施設でのペットの受け入れは、実際運営にあたる自治会や町内会、学校長の意向に左右されるので、現場でどうするか決めるしかない。(委員)

・私たち動物愛護団体は、動物愛護相談センターから犬や猫の引き出しを行っている。引き出した犬や猫の中にマイクロチップが入っているが、連絡が見つからない方が多くいる。補助金は、動物病院でマイクロチップを入れた時点ではなく、登録を済ませた時点を出してほしい。(委員)

⇒補助金は、A I P Oから送られてくる登録完了通知を添付して補助を出す制度である。(事務局)

・注射済票交付事務を町田市外の動物病院に委託しているのか。(委員)

⇒町田市外でも協定を結んだ動物病院に委託している。(事務局)

・地域猫活動ガイドラインについて市民の理解が進むように工夫してほしい。(委員)

・地域猫活動が一般市民にわかるよう普及啓発を行ってほしい。(委員)

・例えば黄色いチョークなどを使って犬フン放置防止を啓発するなどペットの飼育に関するマナー啓発の方法を保健所から提案してほしい。(委員)

・「ペットタウンまちだ」だけでなく一般の広報紙にもペット関係の記事を掲載してほしい。(委員)

⇒広報を使っただけの発信力は弱いと認識しているので、積極的に広報媒体を使っていきたい。(事務局)

4 その他 (事務局から説明)

5 閉会 (事務局)